

※個人情報に関する内容が含まれています。取り扱いには十分気をつけてください。

百人一首大会 2組が勝利

2月2日(金)に行われた百人一首大会は各クラス6つの班に分かれて対抗した結果、2組の4勝・1組の2勝となり、お手付きを含む総合計は、327枚-273枚で2組の勝ちとなりました。班別・個人別の表彰は次のとおりです。

班別表彰(上位3位まで)

1位	2組	ろ班	70枚
2位	2組	は班	60枚
3位	1組	へ班	57枚

枚数は、班員の取った枚数の合計と対戦相手のお手付きの枚数の合計

個人表彰(上位5位まで)

1位	Maさん	38枚
2位	Oさん	36枚
3位	Nさん	30枚
4位	Miさん	26枚
5位	Tさん	24枚



対抗戦が終わった後に、一首のみ・1対1の対決が行われました。自分のクラスの仲間が札をとるたびに湧き起こる歓声、ハイタッチ。班別対抗と同じくらい盛り上がりを見せたこの対決では、22人中1組が先に札をとったのは15人と、クラス対抗の借りを返した形となりました。

事前に国語の授業で「百人一首調べ」と題して、一人一人が気に入った一首について詳しく深く調べて、レポート形式でカラフルに仕上げていました。現在も廊下に掲示しています。なかでも多くの生徒が調べたのが『ちはやぶる…』で始まる歌でした。そのため、大会前の練習でも本番でも『ち・は』と読み上げられた瞬間に何人もの手が一斉に一枚の札に向かって伸びていました。

また、歌が進んで枚数が残り少なくなった時には空札を入れましたが、空札を読み始めるとすぐに『さっきよんだ。もう出た。』という声があちこちで上がりました。みんなの記憶力に驚かされると同時に感心しました。

ちょっと？もって？考えて

今回の「大会」は、取り札をめぐる等のトラブルもなく終えることができました。しかし、札を取ったことに喜びすぎて次の歌を詠む声が聞こえづらくなり注意を受けるなど、寂かな雰囲気とはいきませんでしたね。「周りのことを考えて行動する」これは12月の球技大会でも触れたことです。考えてはいいものです。